

科目名		運動学		授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必須・選択 必須

## 〔授業の目的・ねらい〕

身体諸器官のなかで筋・骨・関節などの運動器を対象とし、その身体運動を研究する学問を運動学(kinesiology)という。作業療法が目的とする「応用的動作能力の改善」を考えるときの基礎学問になる。授業では作業療法に必要な基礎的な運動学の知識を学習する。

## 〔授業全体の内容の概要〕

運動器の構造と機能を理解し、それらの知識に基づいて身体運動について学習する。この科目は、動作能力の評価や治療を学ぶうえでの基礎分野としての役割を果たす。

## 〔講師の実務経験〕

## 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

身体運動を分析し理解する方法を習得する。

回数	講義内容
1	運動学総論
2	生体力学の基礎
3	生体の構造と機能
4	上肢帯と肩関節の運動と機能(1)
5	上肢帯と肩関節の運動と機能(2)
6	肘関節と前腕の運動と機能
7	手関節と手指の運動と機能(1)
8	手関節と手指の運動と機能(2)
9	手関節と手指の運動と機能(3)
10	体幹の運動と機能(1)
11	体幹の運動と機能(2)
12	下肢帯と股関節の運動と機能
13	膝関節の運動と機能
14	足関節と足部の運動と機能
15	姿勢および歩行の診方 まとめ
	定期筆記試験

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
基礎運動学 第6版補訂	中村隆一	医歯薬出版

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする